

## B 主体的に学習に取り組む態度を見取る評価事例

### 考え方

「主体的に学習に取り組む態度」を個別に見取る（点で見取る）のではなく、2観点の獲得に向かうプロセスを見取ろうとすることが重要

例

思考・判断・表現  
した作品等

粘り強さ  
自らの学習を調整

修正後の  
思考・判断・表現  
した作品等

↑ ここを見取る

### 評価方法

ノートやレポート  
等における記述

授業中の  
発言

教師による  
行動観察

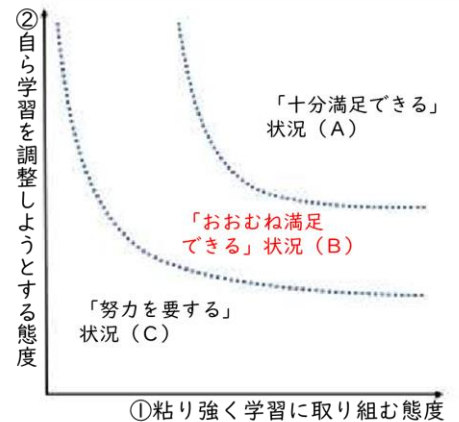
児童生徒による自己評価  
や相互評価等の状況

### ア 「粘り強さ」と「学習の調整」を意識した評価規準の設定

粘り強い取組を行おうとする側面  
…ガソリン（エネルギー）

自らの学習を自己調整しようとする側面  
…ハンドル（スキル）

どちらも、知識・技能、思考・判断・表現から切り離さずに、評価することが求められます。



### R 3日高教育研究所・教職員研修センター（小4・国語）

〔事例〕

場面の様子をくらべて読み、感想をまとめよう  
「一つの花」  
(C読むこと)

粘り強さ

主体的に学習に取り組む態度

①進んで、登場人物の気持ちの変化等について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、今までの学習を生かして、文章や作品にまとめようとしている。

粘り強さを  
発揮して  
ほしい内容

自らの  
学習の  
調整

単元の  
具体的な  
言語活動

【Column】なぜ「十分満足できる状況」(A)の子どもを見取るのか  
「十分満足できる状況」(A)の子どもを見取ることが何につながるのでしょうか。評定をつけるためという目的もあるかもしれませんが、他にも次の2点のメリットが考えられます。

#### ① 指導改善のため

A基準を意識することにより、教師が児童生徒のよさを引き出そうとする姿勢が強まります。特に経験の浅い教師にとっては、より高い目標に到達するための指導改善につながります。

#### ② 子どもの意欲の向上のため

評価基準を子どもと事前に共有した場合、子どもが自分のよさに気付くことができ、A基準の目標があることで、子どもはさらに高い目標に向かって意欲をもって取り組み、学習したことの意義や価値を実感できるでしょう。

# イ 「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」を意識した評価場面の精選

## R 2 胆振教育研究所 (小4・国語)

〔事例〕  
読んで感じたことや考えたことをまとめよう  
「ごんぎつね」  
(C読むこと)

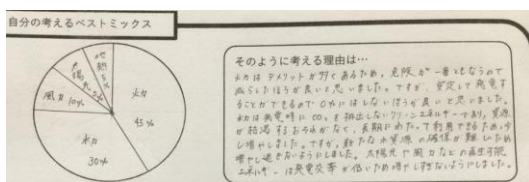
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7 本時	ごんが兵十に撃たれてしまう場面のごんと兵十の気持ちの変化を考える。 (⑥の場面)		○思① (行動観察, ノート分析)	
	学習課題に示された, ごんの思いが兵十に伝わったかどうかについて, 友達と考えを交流する。		・思② (行動観察, ノート分析)	○態① (行動観察, ノート分析)
8 ・ 9	交流したことを基に, 新たに感じたことや考えたことを文章にまとめる。		○思② (行動観察, ノート分析)	・態① (行動観察, ノート分析)

- ・全員の学習状況を記録に残す評価を行う場面は「○」
  - ・指導に生かす評価を行う代表的な場面は「・」
- 評価規準の数、記録に残す評価の場面を精選することがポイント

# ウ 「十分満足できる」学習状況の検討

## R 3 釧路教育研究所 (中2・技術)

〔事例〕  
電気エネルギーについて知ろう・北海道の発電について調査し、最適なエネルギーミックスを考えよう



そのように考える理由は…

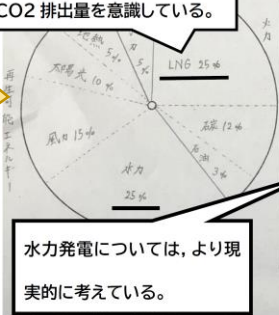
それは中2の学習で、定規が1番はなすので、風力は10%が良いと思います。また、安定した発電をするためには、水力は10%、風力は10%、太陽光は10%、火力は40%、地熱は10%が良いと思います。また、安定した発電をするためには、水力は10%、風力は10%、太陽光は10%、火力は40%、地熱は10%が良いと思います。

小水力発電の新技术について自ら調べるなど、安全・安心な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしている姿が見られたことから、生徒アを「十分満足できる」状況(A)と評価



これまでの活動を通して、最後にもう一度、自分のベストミックスを考えよう。

火力発電の内容が細分化。  
CO2排出量を意識している。



水力発電については、より現実的に考えている。

1回目から変わった・変わらなかった  
このように考えた理由は…  
火力発電の内容が細分化されたので、CO2排出量を意識して、火力発電の割合を減らした。水力発電の割合は、大規模な水力発電と小規模な水力発電を確保して、安定した発電をしようと思った。また、地熱発電は、北海道に多いので、積極的に取り入れようと思った。火力発電は、安定した発電をするために、引き続き取り入れる。水力発電は、環境に優しいので、積極的に取り入れる。地熱発電は、北海道に多いので、積極的に取り入れる。水力発電は、環境に優しいので、積極的に取り入れる。地熱発電は、北海道に多いので、積極的に取り入れる。

# エ 「努力を要する」状況の児童生徒への手立て

## R 3 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター (小3・4・音楽)

〔事例〕  
音楽的な表現について学ぶ—音楽的な表現力を身に付ける

【本時案中の評価規準・評価基準表より】

☆◎評価規準：態②  
音楽的な表現力を身に付ける活動に、楽しみながら協働的に取り組むことができる (観察：発言および反応/記述量：ワークシート)

評価基準	他者の担当部分も意識 (目配せ・合図等) しながら演奏している
A	
B	自分の担当部分の演奏をしている
C	自分の担当部分の演奏をしていない

Cと判断される児童への対応：まず他者を見て、続いて自分も演奏するように指示する

評価後のCの児童生徒に対する支援

支援の具体  
当該児童の横について「他のメンバーの演奏を見てみよう」という指示をしつつ、徐々に活動に参加させていく。

# オ 記述ではない形で表出する児童生徒の姿に着目した評価方法の工夫

R3上川教育研修センター（中1・外国語）

①ミニパフォーマンステストの内容  
「ALTとのやり取りに向けて、お互いのことをよりよく知るために、部活動について簡単な語句や文を用いてお互いの情報や考えなどを即興で伝え合う。」

②採点の基準 お互いのことをよりよく知るために…  
条件1：【質問できる】Yes/No疑問文や疑問詞を用いた疑問文で質問している。  
条件2：【応答できる】相手の質問に対して、その場で適切に回答している。  
条件3：【継続・発展】関連する質問をしたり、自分の情報を伝えたりしながら、対話を継続している。

③採点の結果

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒D	学期末テストで評価する。	関連する質問をし話題を広げたり、自分の情報を詳しく伝えたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしている。	関連する質問をし話題を広げたり、自分の情報を詳しく伝えたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。

採点の基準を明確にし、評価の仕方について具体的に紹介

〔事例〕  
日常的な話題について、お互いの情報や考えなどを伝え合う

# カ 「指導に生かす評価」の結果を用いた授業改善

R3後志教育研修センター（小4・国語）

〔事例〕  
場面の様子をくらべて読み、感想をまとめよう「一つの花」（C読むこと）

感じたことや考えたことを自分で調整しながら文章にまとめようとしている児童の様子を見取った。

交流で得た複数の記述を根拠にしようとしている姿や、友達の発言を参考に記述している姿を全体で取り上げ、A評価の実際の事例を全体で共有した。

# キ 単元を通した「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

R3函館市南北海道教育センター（小2・国語）

〔事例〕  
くりかえしに気をつけてとうじょう人物の様子を読もう「きつねのおきゃくさま」（C読むこと）

友達との意見交流後に紹介する文章をよりよくしようとして修正し、単元の終わりに新たな紹介文を書き上げた。→「十分満足できる」状況（A）と評価

〔事例〕  
くりかえしに気をつけてとうじょう人物の様子を読もう「きつねのおきゃくさま」（C読むこと）

【成果と課題】

- 実践に基づいた単元の指導計画やワークシート、評価の実際等を掲載したことで、特に経験が浅い教員にとって参考となる資料を計20事例作成できた。
- 評価の場面に精選した指導計画を構想したことにより、指導と評価の一体化がなされ、教職員の負担軽減につながることを確認できた。
- ルーブリックを作成し子どもと共有したことで、教師の指導の方向性が明確になるとともに、子どもの見通す・振り返る活動が充実し、子どもの学習への満足感が高まった。
- 主体的に学習に取り組む態度の評定やルーブリックの考え方を示すことができた。
- 単元の始めに、子どもにどのような学習計画を立てさせるか研究を深める必要がある。
- ルーブリックを活用した実践・評価事例を継続的に収集し、活用を促す必要がある。

主な参考文献

主体的に学習に取り組む態度の評価に取り組んだところ、児童生徒の意欲が高まり、教師も把握しやすくなりました。



【主な参考文献】

- ・ 石井英真・鈴木秀幸(2021)『ヤマ場をおさえる学習評価 小学校』
- ・ 石井英真・鈴木秀幸(2021)『ヤマ場をおさえる学習評価 中学校』
- ・ 国立教育政策研究所(2020)「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(小・中学校 各教科)
- ・ 鈴木秀幸(2021)「『主体的に学習に取り組む態度』の評価—他の二観点と連動させる—」『指導と評価』2021年11月号
- ・ 鈴木秀幸(2022)「形成的評価と総括的評価」『指導と評価』2022年1月号 他
- ・ 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会(2019)「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」
- ・ 富山哲也「特集 新しい学習評価」『中学校 国語教育相談室No.93』
- ・ 西岡加名恵・石井英真・田中耕治編(2016)『新しい教育評価入門』

第17次共同研究推進委員一覧

第17次共同研究推進委員

令和2年度(2020年度)

委員長	上川教育研修センター	小林 豊			
副委員長	北海道立教育研究所	浅部 航太			
委員	後志教育研修センター	原田 益明	札幌市教育センター	塚崎 亮	
	檜山教育研究所	穴戸 暢宏	岩見沢市立教育研究所	富樫 いずみ	
	胆振教育研究所	本所 章宏	北海道教育大学へき地・		
	十勝教育研究所	杉澤 諭	小規模校教育研修センター	芳賀 均	
	留萌管内教育研究所	渡辺 心	北海道立教育研究所	三谷 玖未	

令和3年度(2021年度)

委員長	後志教育研修センター	原田 益明			
副委員長	北海道立教育研究所	浅部 航太			
委員	日高教育研究所・		留萌管内教育研究所	中村 泰広	
	教職員研修センター	晴山 省吾	札幌市教育センター	上野 智恵美	
	釧路教育研究所	飛島 耕輔	岩見沢市立教育研究所	富樫 いずみ	
	網走地方教育研修センター		北海道教育大学へき地・		
		千葉 佑太	小規模校教育研修センター	芳賀 均	
	上川教育研修センター	三上 貴也	北海道立教育研究所	中元 徳寿	

令和4年度(2022年度)

委員長	札幌市教育センター	上野 智恵美			
副委員長	北海道立教育研究所	佐藤 昭彦			
委員	石狩教育研修センター	中田 豪	苫小牧市教育研究所	菊池 宣匡	
	後志教育研修センター	原田 益明	根室教育研究所	水口 拓真	
	上川教育研修センター	片山 泉	十勝教育研究所	柴田 悠二	
	留萌管内教育研究所	中村 泰広	北海道教育大学へき地・		
	渡島教育研究所	石井 望	小規模校教育研修センター	芳賀 均	
			北海道立教育研究所	吉村 暢起	

令和4年(2022年)9月発行

発行者 北海道教育研究所連盟事務局(北海道立教育研究所内)

住所 〒069-0834 江別市文京台東町42番地

電話 011-386-4517 Email dokenren@hokkaido-c.ed.jp